

令和6年度（2024年度）授業づくりレベルアップ研修講座（事後研修）



【交流・協議】 本研修後の授業実践の共有と 更なる授業改善に向けて

令和7年（2025年）2月7日（金）13:40～14:40
北海道立特別支援教育センター
研究員（自閉症・情緒障がい教育室） 山 口 智 也

【交流・協議】のねらい

実践内容を振り返り、成果と課題を明らかにする。

受講者同士で取組を共有し、更なる授業改善に生かす。



交流・協議の進め方

【交流・協議】の進め方について

○ 説明(5分)



○ 個人思考(5分)

作成した教材と授業実践の工夫について、説明する内容を整理する。



○ 交流・協議(50分)

【視点1】育成を目指す資質・能力の明確化

- 単元(題材)の目標は設定しているか。取り扱う学習内容は、どの教科のどの内容か。
- 単元の目標を踏まえ、どの時間にどの目標に向けた指導を行うか。

【視点3】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

- 一人一人の特性・学習進度等に応じた重点的な指導や指導方法・教材等工夫は、どのように行っているか。

○ 個人思考(5分)

作成した教材と授業実践の工夫について、説明する内容を整理する。

個人思考（5分間）

で記入します。

（学習指導案や授業の反省などの部分を説明するか、印を付けるなどでも可です。）

令和5年度（2024年度）授業づくりレベルアップ研修講座「教材づくりコース」

交流・協議シート

作成した教材と授業実践の工夫

①教科等・単元名
②本時の目標
③教材の章図
④作成した教材の成果や授業の改善点

★他の受講者の取組

他の受講者の教材・授業実践の工夫	参考にしたいこと

○ 交流・協議(50分)

- 作成した教材の意図や成果などについて説明する。
- グループのメンバーは発表者の取組や、参考にしたいことについて適宜メモを取る。
- 質疑応答をする。

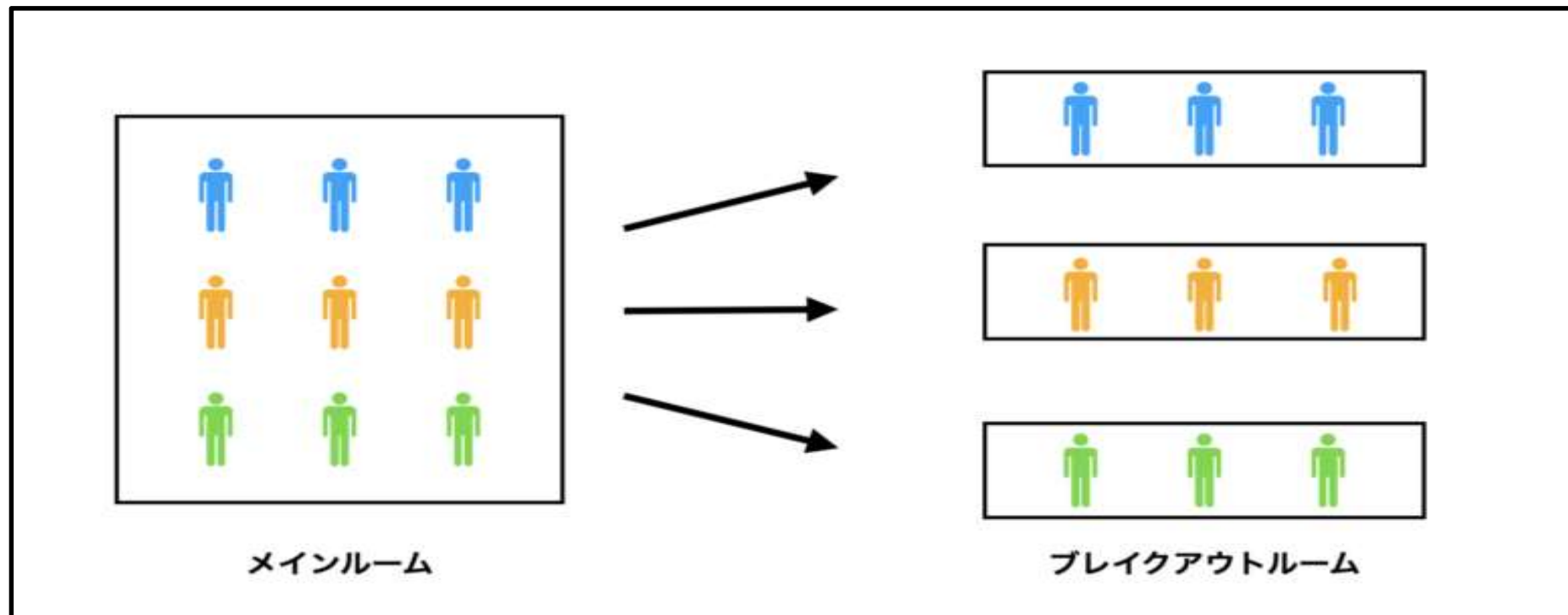
時間の目安

4名グループ (13分×2人、12分×2人)

1人目	13 : 50	～	14 : 03
2人目	14 : 03	～	14 : 16
3人目	14 : 16	～	14 : 28
4人目	14 : 28	～	14 : 40

時間は目安です。グループ内で調整しながら進めてください。

ブレイクアウトルームについて



画面にこの表示が出たら
【参加】を押してブレイクア
ウトルームに移動します。